



はじめの一步③

4月6日(金) ~ 4月7日(土)

IN 西宮市立甲山自然の家

	午前	午後	夜
1日目	自然遊び	名札作り 具材争奪ゲーム	キャンプファイヤー テーブルクロス作り
2日目	カレー作り	閉村式	

一日目： 甲山での活動は、まず施設までの約1時間にわたるハイキングから始まり、仁川で全員が揃った頃から降り出した雨で、子ども達は「この雨のなか歩くのかあ…」とがっかりの様子でしたが、歩くうちに小雨になり、施設に到着する頃には雨も上がっていました。班ごとの昼食後、丸太を用いた名札づくりを行いました。丸太探しに苦戦する班もありましたが、思い思いの名札が出来たようで皆満足そうに首から下げていました。次に行った具材争奪ゲームでは、翌日のカレー作りで使う具材をゲームで決めました。具材は定番のものから個性的なものまであり、得た具材でどんなカレーが出来るのだろうかとわくわくしている姿がみられました。入所してからは、翌日みんなで作ったカレーを食べるときに使うテーブルクロスを作りました。白い大きな布にマジックでカレーの絵と班の名前などを思い思いに考え、その班ならではのオリジナルテーブルクロスが完成しました。夜はキャンプファイヤーを行いました。まだまだ寒い中でしたが、みんなの元気が寒さを吹き飛ばし、踊ったり、歌ったり、ゲームをしたりととても楽しみました。



二日目： いよいよカレー作りの日です。朝早くから起床し、皆で眠い目をこすっていました。協力して布団をたたみ、多目的室にて全員で「おはようございます！」のあいさつ、あいさつじゃんけんをして交流し、眠気を覚ましたあと、朝ご飯を食べました。掃除も行き、施設をきれいにした後、前日に手に入れた食材とその食材をもとにイメージしたカレーを書いたテーブルクロスを持って、野外炊飯場へ向かいました。料理が初めてだった子ども達も居たようですが、班ごとに手分けし、工夫して取り組んでいました。調理には、「洗う、切る、煮る、火をおこす」が主な作業なのですが、役割ごとにチャレンジしたり、できないことは協力したりして、班ごとにオリジナルのカレーを夢中になって作りました。出来上がったものをみんなで楽しく食べた後、借りたものはしっかりキレイに洗って片づけをし、全員で施設の前で集合写真を撮りました。その時の、みんなの嬉しそうな笑顔がとても印象に残っています。帰りの道も今回のキャンプの思い出を話しながら、仁川駅まで向かいました。



<キャンプ総括>

子どもたちが、「はじめの一步」として、初めての野外活動で行うにふさわしいものは何か。かつ、協力して、簡単すぎず難しすぎず、楽しい思い出が作れる、といったことができるような企画は何なのか。そういった条件を元に、今回のメインである、オリジナルカレー作りを企画しました。テーブルクロスを作ることによって子ども達は翌日のカレー作りへの関心や班の団結が高まったように感じます。また、それに伴って二日目に向けての意欲、やる気には目を見張るものがありました。私たち大人からすると一見容易に作ることが出来る料理とはいえ、子ども達の中には自分たちの手で行ったのが今回初めてだった子も少なくないと思います。そのような中で子ども達一人一人がルールを守って活動し、大きなけがもなく無事に活動を終えることができました。今回の活動で一番に学んでもらいたかったのは、『協力して何かを成し遂げる』、ということです。それぞれの班の様子から、その目標は達成できていたように思います。今回感じていただいたことは、今後とても重要なスキルになるはずです。是非、今後の学校や様々な場所で生かしていただければ、この活動も大きな意味があったと思います。

(岡田 早百合 、 吉田 大祐)